

勝海舟の記念館にあなたの想いを残しませんか？

勝海舟 基金

〈ふるさと納税〉



●お礼の品 勝海舟基金へのご寄附はふるさと納税の対象です。詳細は大田区ホームページをご覧ください。

寄附金	お礼の品	
	大田区民以外のみなさま・法人の方	大田区民(個人)のみなさま
3千円以上	・大田区立勝海舟記念館ご招待券	
1万円以上	・勝海舟記念館年間パスポート1枚またはご招待券4枚 ※1 ・手ぬぐい(非売品) ※2	
10万円以上	・寄附者名を銘板に掲載(任意) ・勝海舟記念館年間パスポート1枚またはご招待券4枚 ※1 ・手ぬぐい(非売品) ※2	・寄附者名を銘板に掲載(任意)

※1 該当者には、別途ご案内させていただきます。

※2 1万円以上のご寄附を複数回お寄せいただいた方の記念品は、ミュージアムショップグッズも選択できるようになりました。該当者には別途ご案内させていただきます。

・法改正に伴う総務省の告示により、令和元年6月1日から大田区は大田区民(個人)の方にお礼の品をお贈りすることができません。ご了承ください。(寄附者名銘板を除く)

・希望される方はホームページに寄附者名(個人・団体等)を掲載いたします。ホームページへの掲載は一定期間とさせていただきます。

・銘板は随時製作してまいります。掲載時期については別途ご案内させていただきます。

・お礼の品は随時発送いたします。

勝海舟の想いと事蹟を伝える記念館



勝海舟の記念館 -文化財の保存・活用-

国登録有形文化財である旧清明文庫を保存・活用しながら増築し、全国初の勝海舟記念館を開館しました。海舟の功績や大田区との縁を紹介するとともに、海舟の想いと地域の歴史を伝える記念館を目指します。



勝海舟 (1823~1899)
 (通称: 麟太郎、安房守、安房 実名: 義邦)
 海舟は、幕末から明治にかけて激動の時代を駆け抜けました。咸臨丸で渡米し、海軍の育成に努めるなど革新的な考えを持った幕臣の一人です。
 慶応4(1868)年に新政府軍が江戸に進軍した際には、薩摩藩邸における西郷隆盛との会見や、池上本門寺での会談等を経て、「江戸開城」を実現させたことでも知られています。

「国登録有形文化財 旧清明文庫」

清明文庫は、財団法人清明会が設立しました。昭和3年に竣工し、海舟の墓所や別荘「洗足軒」の保存、幕末新聞に関する図書等の収集・閲覧、各種講義が行われました。平成12年に国登録有形文化財に登録され、平成24年に大田区の所有となりました。外観正面中央部のネオゴシックスタイルの柱型4本が特徴的で、内部にはアルデコ調の造作が施されるなど、西洋の建築技法も取り入れられたモダンな建造物です。



開館当時の清明文庫 (洗足風致協会所蔵)

「勝海舟とおおた」

明治24年、海舟は洗足池の畔に別荘「洗足軒」を構え、自身の埋葬の地に定めました。江戸開城直前、海舟は洗足池の畔を經由して池上本門寺の新政府軍との会談に臨んでいます。その時の記憶が、海舟を洗足池に強く惹きつけたのかもしれませんが、海舟は、現在も洗足池の畔に静かに眠っています。



洗足軒

館内一部紹介



海舟ブレイン
 海舟自身の言葉等から、海舟が何を考えてきたかを際々明かに、その想いと人物像に迫ります。



海舟クロニクル
 実物資料等をもとに、幕末から明治時代を駆け抜けた海舟の一生を辿ります。



企画展示室
 定期的にテーマを変え、展示を行います。



時の部屋
 CG映像を中心に、大海原を進む咸臨丸の航海を体験できます。(9分)



ミュージアムショップ
 記念館限定グッズを販売しています。



大型モニター映像展示
 3つの作品を放映しています。「東京はこうして生まれた」12分「洗足池の四季」6分「若き日の海舟」6分



洗足池ゾーン
 海舟が愛した洗足池の紹介や、別荘「洗足軒」のジオラマ等を展示します。その他、タッチパネルで所蔵資料の検索等が可能です。



清明文庫ゾーン
 勝海舟記念館として活用している清明文庫の模型や、昭和時代の講演の様子などを紹介しています。



海舟ゾーン
 海舟に関する資料等の展示や、タッチパネルで海舟ゆかりの人々の絵巻や海舟クイズなどで楽しみながら学べます。



旧清明文庫
 昭和初期のモダンな建築もお楽しみいただけます。

勝海舟基金 -ふるさと納税-

募集開始の平成30年8月から令和4年度末までに累計1,107件60,156,464円のご寄附をいただき、資料の購入や修復に活用させていただいています。

より魅力的な記念館として運営し続けられるよう、勝海舟基金への寄附は現在も募集中です。引き続きのご支援・ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

基金活用実績

-資料の購入-

これまで購入した勝海舟ゆかりの資料は、調査研究をすすめ、展示を通して皆様に公開し、未来に継承してまいります。

本資料は、紙幣印刷導入に当たり大蔵省紙幣局に招かれたイタリア人版画家エドアルド・キヨッソーネ(Edoardo Chiosso;1833~1898)が、明治16(1883)年に創作した西郷隆盛の肖像画の複写です。

隆盛の弟・従道の目元と従弟・大山巖の口元とがモンタージュされ、隆盛の知人や遺族の意見を取り入れながら描かれました。同10年の西南戦争における隆盛の死からわずか6年という早い時期に政府の公認を得て製作されたことから、写真が確認されていない隆盛の容貌を伝える作品として、後年の西郷像に大きな影響を与えました。しかし、太平洋戦争時に原画が焼失したことで、その様子を伝える資料は原画を写した写真のみとされてきました。

こうした中、本資料は原画から直接複写した可能性があり、極めて稀少と考えられます。また、生前の隆盛と深い関わりを有した海舟の家に伝わった事実から、両者の浅からぬ因縁も感じられます。



「西郷隆盛真影」(532×422mm)キヨッソーネが描いた西郷像が印画紙に複写されている。

-資料の修復-

収蔵資料の多くは、江戸時代末期から明治時代のものであり、中には劣化の激しいものもあります。資料は弱った部分から劣化が進行するため、歴史的な資料を後世に残していくために修復は不可欠です。

〈過去の修復の一例：陣笠〉

～原型を留めていなかった内部を整え復元し、本来の姿へ～



「陣笠」(380×380mm)黒漆が塗られた表面は、金銀の微細な粉が混じり、粟地のような外観をしている。

本資料は、海舟所用の漆の陣笠です。陣笠とは、風雨等から頭部を保護するために武士が被る帽子の一種です。表面には、勝家の定紋「丸に剣花菱」ではなく、「可文字」があらわれています。

内側には頭部保護のための真綿のクッションやビロード地の紐が収められていましたが、原形を留めていない程、破損や欠損が進んでいました。ビロード地は劣化と共に粉状に朽ちて破損してしまうからです。そのため、これ以上原形が失われないよう欠損部の復元や繕いなどを施しました。

劣化で絡み合った紐を整えると、紐のまとまりや奥に隠れていたクッションが露わになり、本来の内部構造が明らかとなりました。

Before



After



これまでにご報告してきた修復等についても公開しています。右記コードより「勝海舟基金活用報告」をご覧ください。



勝海舟基金にご協力を

より魅力的な記念館として運営し続けられるよう全国の皆さまからお力添えをいただきたく、勝海舟基金を設置し、寄附を募っております。皆さまからご支援を賜りましたご寄附は、勝海舟に関する資料の購入や修復等に活用させていただきます。皆さまのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

●寄附の方法

1 ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM(手数料無料)

このパンフレットにはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)に必要事項を記入し、お近くのゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATMで払い込んでください。

2 区が指定する金融機関(手数料無料)

納付書を送付いたします。
大田区のホームページよりお申し込みください。

3 クレジットカード(手数料無料)

寄附金額が2,000円以上の場合、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」からクレジットカード決済等によりご寄附いただけます。



ふるさとチョイス
大田区ページ

4 勝海舟記念館窓口

(休館日を除く)10時から18時まで
勝海舟記念館窓口まで、現金をご持参ください。

入金確認後、概ね1か月以内に、寄附申込書のお名前・ご住所宛てに寄附金受領証明書をお送りいたします。(注)未成年の方は、保護者の同意が必要となります。

●税法上の優遇措置

<個人の方へ>

本基金へのご寄附はふるさと納税制度の対象です。

確定申告により、所得税及び住民税の寄附金の控除が受けられます。

また、寄附した自治体へ申請することで、確定申告せずに寄附金控除を受けられるワンストップ特例制度があります。

詳しくは、総務省ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。

<法人の方へ>

この寄附は、全額法人税法上の損金に算入されます。詳しくは、国税庁ホームページ等をご覧ください。

●個人情報の取り扱い

ご寄附により取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び大田区個人情報の保護に関する法律施行条例を遵守し、本寄附受領に伴う事務処理にのみ利用いたします。

●注意事項

寄附者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、寄附の申込みをお断りし、又は收受した寄附金を返還させていただきます。

- 1 寄附者が暴力団又は暴力団員である場合
- 2 寄附者が暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する場合

大田区立 勝海舟記念館 Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

利用案内

開館時間：10:00 - 18:00 (入館は17:30まで)

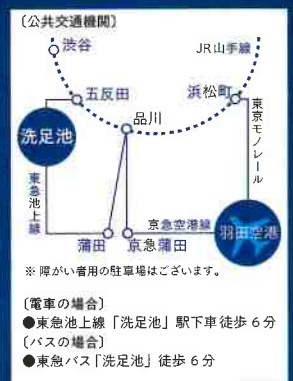
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日

入館料：一般300円、小中学生100円、65歳以上240円、
団体(20名以上)2割引(240円、80円)

※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその付添の方1名が無料です
(入館の際は、上記手帳等の提示をお願いします)。

※65歳以上(240円)で入館の際は年齢の分かるものの提示をお願いします。

交通のご案内



お問合せ

〒145-0063 東京都大田区南千束 2-3-1

TEL: 03-6425-7608 勝海舟記念館 検索



HP



ツイッター